

事業番号4
千葉県県土整備部所管
公共事業監視委員会
平成28年度 第2回

事業再評価

防災・安全交付金

(千葉港海岸船橋地区 高潮対策事業)

平成29年1月23日

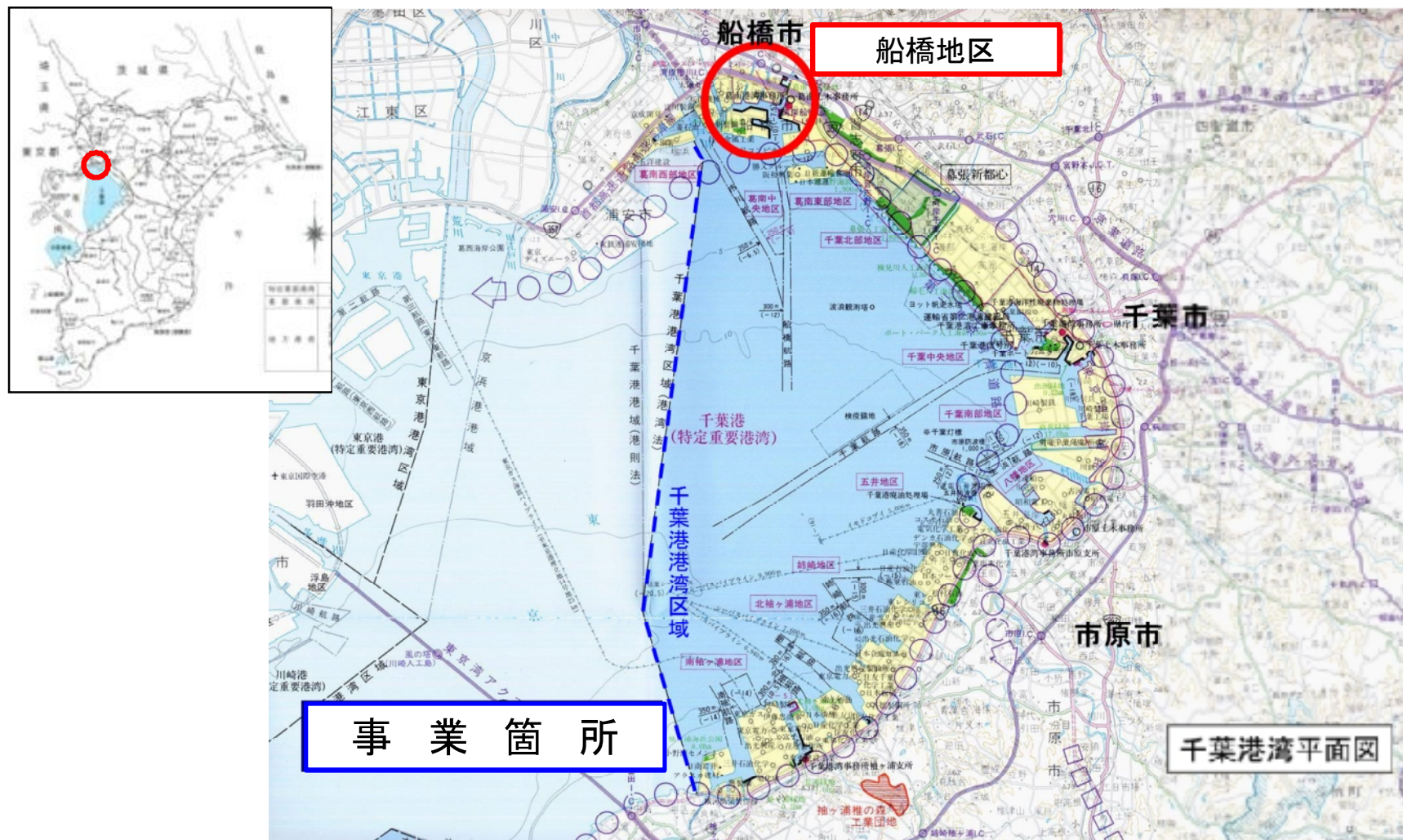
千葉県 県土整備部 港湾課

目 次

1. 事業の概要
 2. 整備内容
 3. 整備効果
 4. 整備の状況
 5. 事業投資効果
 6. コスト縮減
 7. 対応方針(案)
-
-

1. 事業の概要

(1) 位置図



1. 事業の概要

(2) 事業範囲



- ・ 箇所名 千葉港海岸
船橋地区
- ・ 事業所管課 港湾課
- ・ 事業主体 千葉県
- ・ 事業化年度 平成 8年度
- ・ 工事着手年度 平成 8年度
- ・ 工事終了年度 平成 43年度

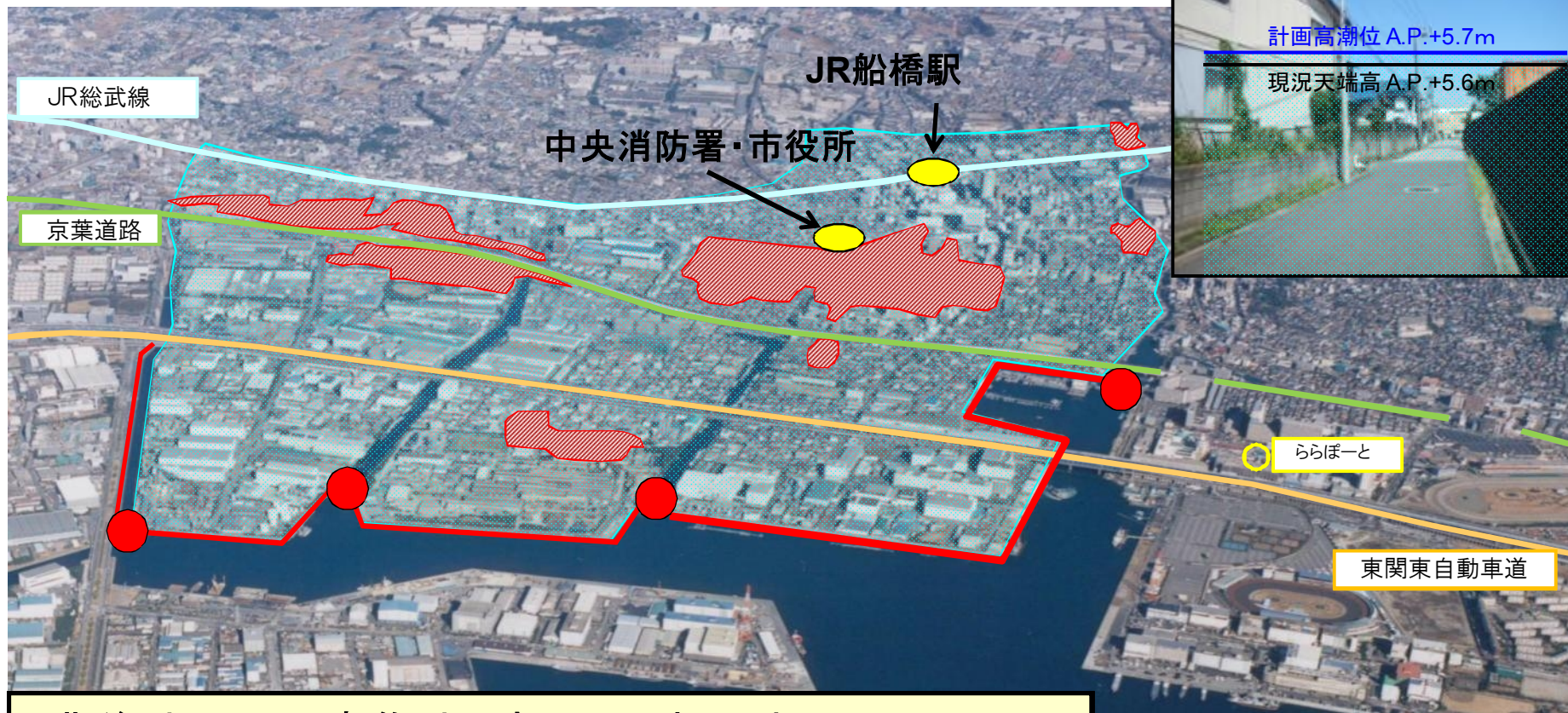
工 種	整備計画
排水機場	4 基
水門	5 基
護岸・胸壁	L=4,344m
事業費	272億円

0 2km

— : 防護ライン【海岸保全区域】

1. 事業の概要

(3) 事業の目的及び必要性

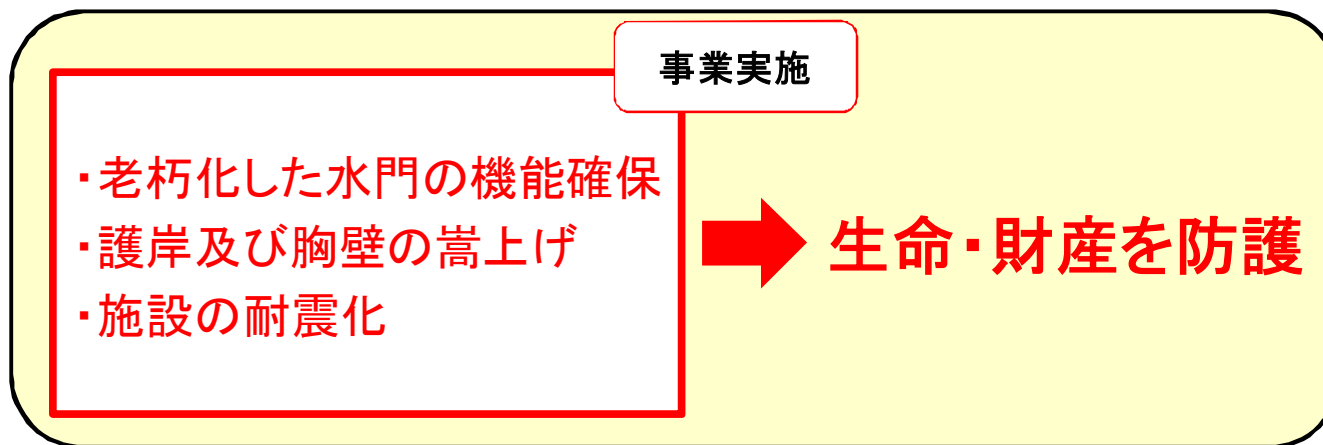
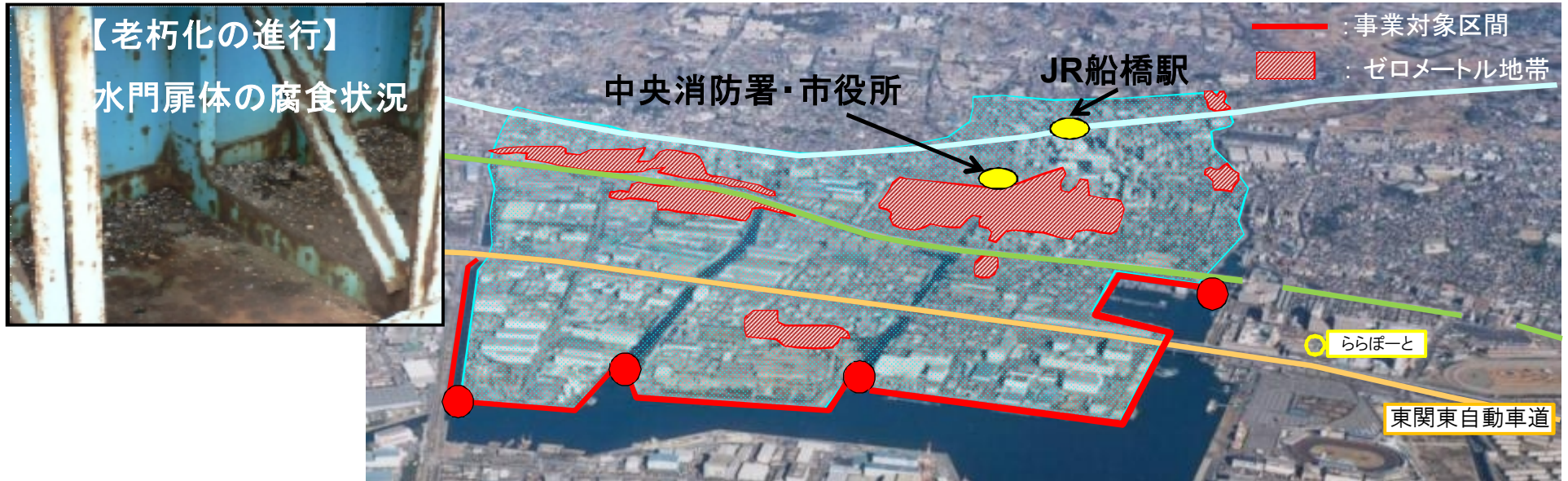


- ・背後地は人口密集地であり、浸水区域には船橋市役所・中央消防署・船橋駅を含む。
- ・浸水区域にはゼロメートル地帯が点在している。

- : 事業対象区間
- ▨ : ゼロメートル地帯

1. 事業の概要

(3) 事業の目的及び必要性



1. 事業の概要

(4) 防護水準

■ 海岸保全基本計画の変更（計画の見直し） ※ 平成25年11月 主務大臣に提出

- ・平成23年3月11日に発生した東日本大震災を契機に防護水準の見直しを行いました。
- ・海岸保全施設は、津波対策と高潮対策の必要高を比べ、高いほうを防護水準として整備する。

高潮対策の必要高

【A.P.+6.2~8.0m】

津波対策の必要高(追加)

【A.P.+4.2m】

朔望平均満潮位
▽AP+2.1m

防護水準(計画天端高)

現況天端高【A.P.+5.6m~A.P.+8.0m】

ゼロメートル地帯最低地盤高さ
AP+1.6m

※ A.P.・・・荒川改修工事に使用された基準面。A.P.+0.0m=T.P.-1.134m